

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第42週の発生動向

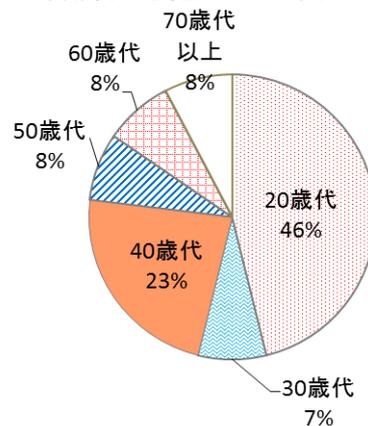
### □ 今週のトピックス

・**梅毒** (全数報告の感染症) : 宮崎市(2例)、日向(1例)保健所から報告があった。県内の今年の累計報告数は13例で、過去10年間で2番目に多い報告数となった。年齢群別では20歳代が6人で全体の約半数を占める。

診断週による年別累計報告数の推移 (2007年~2017年42週)



年齢群別割合 (2017年、13例)



### □ 全数報告の感染症 (42週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核7例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。
- 5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群1例、梅毒3例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	女	脊椎カリエス	四肢麻痺
			60歳代	男	無症状病原体保有者	—
			60歳代	男	縦隔リンパ節結核	症状なし
			60歳代	女	頸部リンパ節結核	頸部リンパ節腫脹
			80歳代	女	肺結核	症状なし
		延岡	30歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
			80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	60歳代	男	—	術後創感染(縫合不全)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	90歳代	女	—	ショック、腎不全、軟部組織炎 血清群:不明
	後天性免疫不全症候群	宮崎市	50歳代	男	無症候性キャリア	—
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	無症状病原体保有者	—
			40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳
日向			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

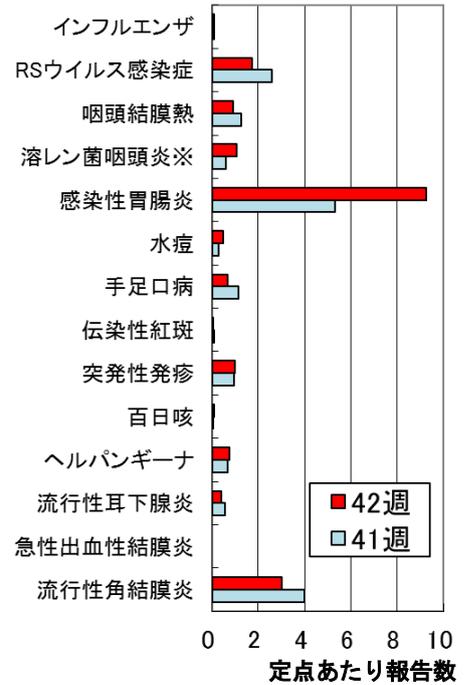
・定点医療機関からの報告総数は615人(定点当たり19.5)で、前週比110%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病である。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【咽頭結膜熱】

報告数は33人(0.92)で、前週比72%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.77)の約1.2倍である。都城、小林(2.7)保健所からの報告が多く、年齢別は1~3歳が全体の約7割を占めた。

《前週との比較》

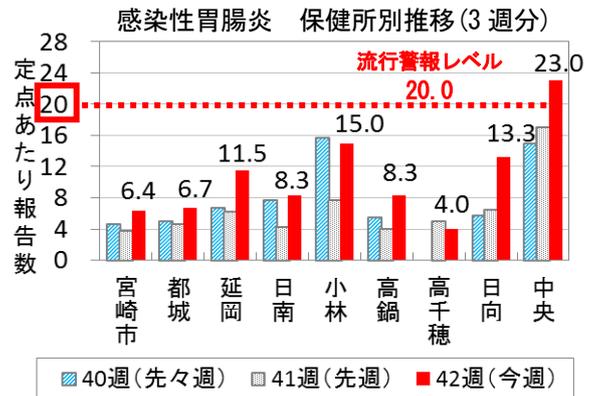
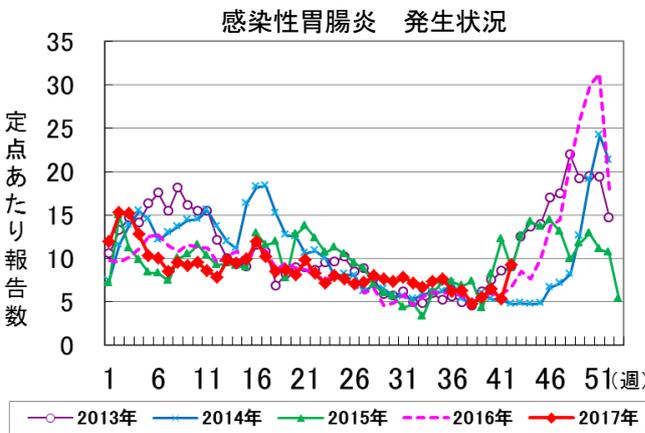
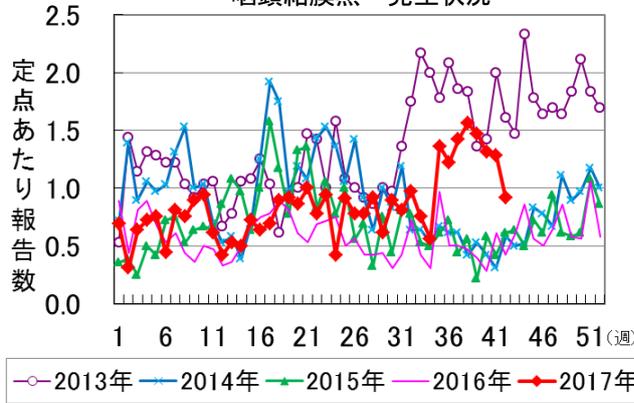


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【感染性胃腸炎】

報告数は333人(9.3)で、前週比174%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値\*(7.8)の約1.2倍である。中央(23.0)、小林(15.0)、日向(13.3)保健所からの報告が多く、年齢別は6ヶ月～2歳が全体の約半数を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均咽頭結膜熱発生状況



★基幹定点からの報告★  
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	感染性胃腸炎(23.0)

\* 流行警報レベル開始基準値\*  
・感染性胃腸炎(20.0)

口病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成29年10月23日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Stanley (O4:d:1,2)	5~9歳	男	2017.10.02	-	便	2017.10.06
Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1,7)	10歳代	男	2017.10.02	発熱(39.2°C)、腹痛、水様性下痢、嘔気、嘔吐	便	2017.10.10
EHEC(O165:HUT VT1,2)	0~4歳	男	2017.10.03	下痢、嘔吐	便	2017.10.08
EPEC(O119:H40)	30歳代	女	2017.10.01	無症状	便	2017.10.17
Salmonella Braenderup (O7:e:h:e,n,z15)	5~9歳	女	2017.10.04	-	便	2017.10.11
Salmonella Braenderup (O7:e:h:e,n,z15)	0~4歳	男	2017.10.06	発熱(40.0°C)、水様性下痢、嘔気、嘔吐、血便、腹痛	便	2017.10.16
EPEC(OUT:HUT)	20歳代	女	2017.10.10	無症状	便	2017.10.17
Salmonella Braenderup (O7:e:h:e,n,z15)	40歳代	女	2017.10.12	-	便	2017.10.20

○0～4歳の男児から腸管出血性大腸菌（EHEC）O165:HUTが分離された。EHEC O165は、亜テルル酸耐性遺伝子を持たず、選択性の強い分離培地に発育しない株の報告がある。O165だけではなく、いくつかの血清型にも同様の報告があるため、腸管出血性大腸菌感染症が疑われる場合には、選択性の強い培地に加え、選択性の弱い培地も併用することが重要である。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
パレコウイルス1型	0～4歳	女	2017.07.05	ウイルス性胃腸炎、40.0℃、胃腸炎(下痢・血便)	便	2017.10.12
アデノウイルス1型	0～4歳	女	2017.08.03	末梢神経障害疑い、麻痺(中枢神経系のもの)	便	2017.10.12
コクサッキーウイルスA2型	0～4歳	女	2017.09.11	急性脳症疑い、38.6℃、脳症	便	2017.10.20

○胃腸炎症状のある幼児の便からパレコウイルス1型が検出された。

○末梢神経障害疑いの幼児の便からアデノウイルス1型(Ad1)が分離された。アデノウイルスは乳幼児に上気道炎や咽頭結膜熱を起こすウイルスとして知られているが、今回、末梢神経障害疑い、麻痺の幼児からAd1が分離された。中枢神経障害を起こすアデノウイルスでは、Ad7、Ad3の報告数が多くなっているが、今回分離されたAd1の検査材料が髄液ではなく便であるため、直接的な起因ウイルスであるかは不明である。

🇯🇵 全国 2017 年第 41 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第41週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	312例				
3類感染症	細菌性赤痢	1例	腸管出血性大腸菌感染症	66例	腸チフス	1例
4類感染症	E型肝炎	5例	A型肝炎	2例	回帰熱	1例
	デング熱	3例	日本紅斑熱	15例	マラリア	1例
	レジオネラ症	41例	レプトスピラ症	3例		
5類感染症	アメーバ赤痢	8例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	25例
	急性脳炎	7例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例
	後天性免疫不全症候群	21例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性髄膜炎菌感染症	3例
	侵襲性肺炎球菌感染症	24例	水痘（入院例）	8例	先天性風しん症候群	1例
	梅毒	62例	播種性クリプトコックス症	3例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例
	風しん	3例	麻しん	2例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 87%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は伝染性紅斑で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病である。

咽頭結膜熱の報告数は1,232人(0.39)で前週比89%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.24)の約1.6倍である。北海道(2.1)、宮崎県(1.3)、山形県(0.90)からの報告が多く、年齢別では1～4歳が全体の約7割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第42週(10月16日～10月22日)

疾病名		第41週	第42週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	6	6	4	1				1			
	定点あたり	0.10	0.10	0.25	0.10	0.00	0.00	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	93	62	18	10	18	2	2	1	1	6	4
	定点あたり	2.58	1.72	1.80	1.67	4.50	0.67	0.67	0.25	1.00	1.50	4.00
咽頭結膜熱	報告数	46	33	3	16	1	3	8			1	1
	定点あたり	1.28	0.92	0.30	2.67	0.25	1.00	2.67	0.00	0.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	21	39	21	3	4	4	1	1		3	2
	定点あたり	0.58	1.08	2.10	0.50	1.00	1.33	0.33	0.25	0.00	0.75	2.00
感染性胃腸炎	報告数	191	333	64	40	46	25	45	33	4	53	23
	定点あたり	5.31	9.25	6.40	6.67	11.50	8.33	15.00	8.25	4.00	13.25	23.00
水痘	報告数	11	18	7	1	3	1	3	1		2	
	定点あたり	0.31	0.50	0.70	0.17	0.75	0.33	1.00	0.25	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	41	24		6	8	1		2	1	5	1
	定点あたり	1.14	0.67	0.00	1.00	2.00	0.33	0.00	0.50	1.00	1.25	1.00
伝染性紅斑	報告数	3	2	1				1				
	定点あたり	0.08	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	34	35	11	7	4	2	6	3		2	
	定点あたり	0.94	0.97	1.10	1.17	1.00	0.67	2.00	0.75	0.00	0.50	0.00
百日咳	報告数	1	3			1					2	
	定点あたり	0.03	0.08	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	24	27	5	6	6		5		3	2	
	定点あたり	0.67	0.75	0.50	1.00	1.50	0.00	1.67	0.00	3.00	0.50	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	20	15		3		6		2		3	1
	定点あたり	0.56	0.42	0.00	0.50	0.00	2.00	0.00	0.50	0.00	0.75	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	24	18	6	9	3						
	定点あたり	4.00	3.00	2.00	4.50	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数										0.00	
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～42週)

2類感染症	結核	153例(7)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17例				
4類感染症	E型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	13例	つつが虫病	6例
	日本紅斑熱	7例	レジオネラ症	9例	レプトスピラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	9例(1)
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例(1)
	後天性免疫不全症候群	8例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	14例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	13例(3)	破傷風	5例
	麻しん	1例				

( )内は今週届出分、再掲